



十六銀行



十六総合研究所

2024年3月29日

各位



医療法人翔樹会とのポジティブインパクトファイナンス契約の締結について

株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀、以下「当行」といいます。）および株式会社十六総合研究所（社長 佐竹 達比古、以下「当社」といいます。）は、医療法人翔樹会（理事長 井上 雅樹）とポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」といいます。）契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

PIFは、当行および当社にて、事業者さまの活動が外部（環境・社会・経済）に与えるインパクト（影響）を評価（特定・分析）し、ポジティブなインパクトの創出とネガティブなインパクトの低減に資するKPIを設定のうえ、定期的なモニタリングを通じてその達成に向けた取組みを支援していくことを目的とする資金調達手段です。

当行および当社は、PIFを通じて事業者さまと共通価値の創造をはかり、ともに持続的な成長を目指してまいります。

記





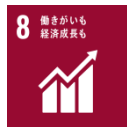


1. PIF契約概要

コース	ローンコース
資金使途	設備資金

2. 企業概要

所在地	愛知県一宮市開明字東沼85番地
事業内容	診療所・介護事業の運営
設立	2000年12月
資本金	40百万円

3. インパクト評価（要旨） ※ 詳細は後掲の「評価書」をご参照ください。

特定インパクト	K P I	関連SDG s
地域医療への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療普及に向けた講演会を定期的（年30回程度）に開催する。 2026年度中に在宅医療専門医を新たに1名増員する。 （2024年2月末実績：1名） 2030年3月期を目安として在宅医療に特化した施設（機能強化型在宅療養支援診療所）を新設する。 	
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 診療所、介護施設のエアコンを毎年3台以上省エネ法が定める省エネ基準を満たしたものに切り替える。 	 
女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> 2026年3月期までに管理職男女比と全労働者男女比を近づけるために、女性管理職を60%以上とする。 （2024年2月末実績：全従業員に占める女性の割合75.7%、全管理職に占める女性管理職の割合54.6%） 	 
外国人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 2030年3月期までに外国人従業員数を11名とする。 （2024年2月末実績：6名） 	 

以上

【本件ご照会先：経営企画部 広報・IR室 TEL 058-266-2511】

医療法人翔樹会
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024年3月29日



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

十六総合研究所は、十六銀行が医療法人翔樹会（以下、「翔樹会」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、十六総合研究所が十六銀行と共同で開発した評価体系に基づいている。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

目次

1. 企業概要と理念、サステナビリティ	- 3 -
(1)翔樹会の概要	- 3 -
(2)翔樹会のサステナビリティ.....	- 6 -
2. インパクトの特定	- 9 -
(1)事業性評価	- 9 -
(2)バリューチェーン分析.....	- 10 -
(3)インパクトレーダーによるマッピング	- 11 -
(4)特定したインパクト	- 14 -
(5)インパクトニーズの確認	- 18 -
(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認.....	- 20 -
3. インパクトの評価	- 21 -
4. モニタリング	- 24 -
(1)翔樹会におけるインパクトの管理体制	- 24 -
(2)当社によるモニタリング	- 24 -

1. 企業概要と理念、サステナビリティ

(1) 翔樹会の概要

【企業概要】

社名	医療法人翔樹会
代表者	理事長 井上 雅樹
所在地	愛知県一宮市開明字東沼 85 番地
事業内容	<有床診療所（井上内科クリニック）の運営> ・外来 ・病棟 ・在宅医療 <介護事業（ほほえみグループ）の運営> ・通所リハビリテーション ・通所介護 ・看護小規模多機能ホーム ・ショートステイ ・訪問サービス（訪問看護・訪問介護・定期巡回） ・居宅介護支援 ・有料老人ホーム ・ナーシングホーム
資本金	40 百万円
設立	2000 年 12 月
売上高	1,189 百万円（2023 年 3 月期）
従業員数	199 名（2023 年 3 月期）

翔樹会は、愛知県一宮市尾西地区にて、クリニック、デイサービス、有料老人ホームなど、幅広い医療・介護サービスを展開する医療法人である。

同社の事業は、主に「有床診療所（井上内科クリニック）の運営」と「介護事業（ほほえみグループ）の運営」に大別される。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

【井上内科クリニックについて】

井上内科クリニックでは、循環器内科・消化器内科を中心に、内科・外科・小児科・消化器内科・皮膚科・アレルギー科等の診療科目を取り扱っている。外来診療のみならず、有床診療所として19床のベッドを有しているほか、開業以来、特に在宅医療に重点的に取り組んでおり、夜間急変の対応も含めて、24時間365日体制で運営している。

【ほほえみグループについて】

ほほえみグループは、一宮市尾西地区にて「通所リハビリテーション」「通所介護」「ショートステイ」「居宅介護支援」「有料老人ホーム」等、幅広く介護サービスを展開している。

具体的には、「通所施設（デイケア・デイサービス等）」「訪問サービス（訪問介護・訪問看護・定期巡回等）」「入所施設（有料老人ホーム・ショートステイ等）」等の介護施設・サービスを下記の通り運営・提供している。

「通所施設」

- ・デイケア ほほえみ開明
- ・デイサービス ほほえみ開明
- ・デイサービス ほほえみ Okucho
- ・デイサービス ほほえみ Irisaki
- ・デイサービス ほほえみ東五城

「訪問サービス」

- ・訪問看護ステーション ほほえみ
- ・ほほえみ定期巡回ステーション
- ・ほほえみ訪問介護事業所

「入所施設」

- ・ナーシングホーム ほほえみ五城
- ・有料老人ホーム 花むすび開明
- ・ナーシングホーム ほほえみ東五城
- ・有料老人ホーム ほほえみ Irisaki
- ・ショートステイ ほほえみ Okucho



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

「複合型サービス」

・看護小規模多機能ホーム ほほえみ開明

【理念について】

翔樹会は「理念・パーパス」「ミッション・使命」「ビジョン」「バリュー」の4階層からなる、理念を掲げている。

「理念・パーパス」

その人らしくを最期まで

「ミッション・使命」

その人に寄り合い、安心・健やかな社会を追求する

「ビジョン」

10年後、私たち翔樹会グループは、一人ひとりが細かい配慮、気配りができる職員が多く、組織間の連携力だけでなく、常に切磋琢磨を欠かさない環境、そしてどんな時でもあきらめない強い気持ちを持つプロの集団として評価され、「医療／介護のことならば翔樹会に頼めば何とかしてくれる」と言われるグループとなった。（以下続く）

「バリュー」

- ①笑顔と挨拶を徹底し、ふさわしい身だしなみ、言葉遣い、立ち振る舞いをします
- ②素直な気持ちでお互いを受け入れ、共感を大切にします
- ③自分も相手も大切にし、感謝しあい、助け合います
- ④変化を恐れず、挑戦します
- ⑤結果を見据え、最後までやりきります
- ⑥目的達成のため、皆で常に情報を共有します
- ⑦機嫌に左右されず、素直に前向きに愚痴、文句をなくし、風通し良い環境にします



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所




(2)翔樹会のサステナビリティ

同会では、SDGs の目標の中から、医療・福祉事業を担う事業者として取り組むべき課題を抽出し、SDGs 達成に向けた下記の活動（「地域医療・福祉に貢献する法人」「安全安心な医療・介護の提供」「働きがいのある職場」「外国人人材の育成」「環境への配慮」）に取り組んでいる。

「医療法人翔樹会 SDGs 宣言」（下表は同法人 HP より引用）

<p>1.地域医療・福祉に貢献する法人</p>	<p>患者様や地域の人々の健康と命を守り、いつまでも住み続けられる健康で明るいまちづくりを進めます。</p> <p>地域医療・福祉に貢献し、皆様から信頼され愛される法人を目指します。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した医療・福祉サービスの提供 ・在宅診療の強化 ・地域連携室の連携強化 ・地域への在宅医療の啓蒙 ・地域密着型サービスの拡充 ・医療特化型の福祉施設の拡充 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>
<p>2.安全安心な医療・介護の提供</p>	<p>医療・福祉環境の変化や多様なニーズに対応し、患者様、利用者様の目線に立った質の高い医療、福祉（介護）の提供に努めます。</p> <p>安全・安心な医療、福祉（介護）サービスを提供し、患者様、利用者様の満足度向上を目指します。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内・施設内感染対策、医療安全対策 ・患者様、利用者様の声の収集と改善活動 ・医療に関する在宅サービスの提供（訪問看護、訪問診療等） ・福祉（介護）に関する在宅サービスの提供（訪問介護、看護小規模多機能型居宅介護等） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正をすべての人に</p> </div> </div>

<p>3.働きがいのある 職場</p>	<p>職員の負担軽減・処遇の改善に取り組み、一人一人が幸せで働きがいのある職場を目指します。教育機会の提供、技術・技能の伝承に努め、職員のキャリア形成を支援し、地域医療、介護サービスを担う人材を育成します。</p> <p>ジェンダー関係なく昇進・キャリアアップの機会を設け、役職員登用においても差を一切つくりません。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職の推進 ・ハラスメント対応（研修の実施、相談窓口の設置等） ・職員の負担軽減・処遇の改善・健康増進 ・働きやすい職場環境づくり ・OJTによる技術・技能の伝承 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> </div>
<p>4.外国人材 の育成</p>	<p>日本での就職を目指す人材の働き甲斐を保つとともに、介護先進国である日本の技術を世界へ広げます。長期在留を望まれる外国人材に対し、資格取得の支援を通し、長期在留が可能な環境作りをサポートします。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定技能外国人の雇い入れ ・住環境のサポート ・資格取得支援の実施 ・日本人サポート担当者の配置 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 貧困を なくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> </div> </div>

<p>5.環境への配慮</p>	<p>職員の環境意識の醸成に努めるとともに、省エネ・省資源・リサイクル等を通じて、環境に配慮したより良い医療、福祉活動を目指します。</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した設備等の導入を推進します。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネの励行 ・医療廃棄物の分別 ・廃棄物の削減・リサイクル ・太陽光発電の導入 ・地域の清掃活動 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>  </div> </div>
-----------------	---

2. インパクトの特定

(1)事業性評価

同会の強みとして、「開業以来、在宅医療に重点的に取り組んでおり、実績とノウハウを有していること」、「有床診療所と介護施設を開設し、地域の医療・介護ニーズに幅広く対応できるとともに、緊急時にも即対応が可能であること」等が挙げられる。

在宅医療に関しては、クリニック開業以来、特に重点的に取り組んでいる。24 時間 365 日の受け入れ態勢を構築するために、医師・職員の人員体制を整備しているほか、院内での研修を拡充し、職員のスキル強化に努めている。また、地域の行政、近隣病院との連携も強化し、同会の医師が講師となり在宅医療に関する啓蒙活動や研修を定期的実施するなど、一宮市内における在宅医療のパイオニア的な存在となっている。同会の在宅医療に関する活動・取組みは、外部からも非常に高く評価されており、2011 年には厚生労働省より在宅医療連携拠点事業を受託している。

一宮市内に、有床診療所や、デイケア、デイサービス、ナーシングホーム等、複数の施設を展開。通所・訪問・入所など利用者の多様なニーズに対応できる体制を構築している。

その他、消化器系と循環器系の診療に特に強みを有しており、「苦痛の少ない胃カメラ」の診療は患者から好評を受けている。

日本では、「団塊の世代」が 75 歳以上となる 2025 年以降は、医療や介護需要のさらなる増加が見込まれている。とりわけ、地域医療はその影響を強く受けるとされており、厚生労働省は早急に「地域包括ケアシステム¹」の構築を目指している。

上述のように、同会が在宅医療や幅広い医療・介護サービスを展開することで、当地区の地域包括ケアシステムの構築に寄与していると考えられる。

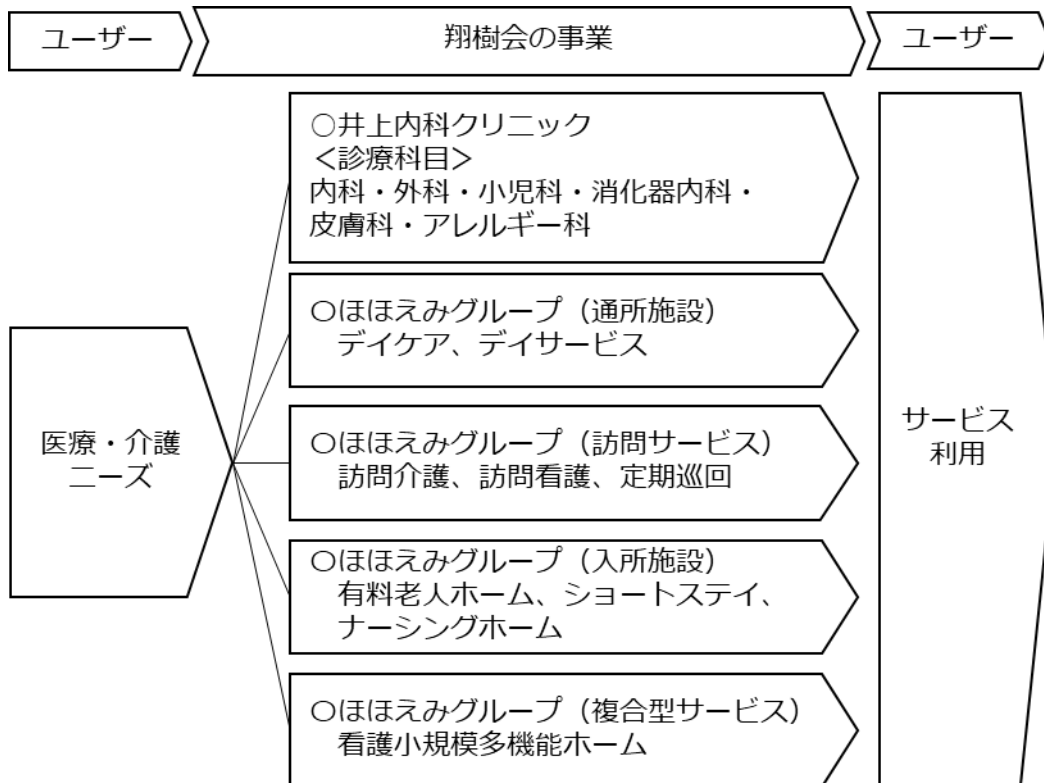
¹ 地域包括ケアシステム：地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその保有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。2014 年に成立した「地域における医療および介護の総合的な確保の促進に関する法律」において、定義された。

(2)バリューチェーン分析

同会の事業は、「井上内科クリニック」の事業と「ほほえみグループ」の事業に大別される。

地域の医療・介護ニーズに対して、当グループとの連携が機能しており、強みである在宅医療に加え、クリニックでの外来診療、ほほえみグループによる通所介護、訪問介護、入所介護など幅広い医療・介護ニーズに対して、対応することができる。

●バリューチェーン図



(3)インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施した。

●インパクトマッピング（インパクトレーダー改訂版 2022 に基づき十六総研作成）

バリューチェーン			翔樹会の事業							
国際標準産業分類			8610		8710		8730		8810	
			病院事業		居住介護施設		高齢者・障害者用 居住ケアサービス業		宿泊施設のない高齢者・ 障害者向け社会事業	
大分類	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会	人格と人の 安全保障	紛争								
		現代奴隷								
		児童労働								
		データプライバシー								
	健康および安全性	自然災害								
		-	●●	●	●	●	●	●	●	●
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手ごろさ、 品質	水								
		食糧								
		エネルギー								
		住居			●		●			
		健康と衛生	●●		●	●	●	●	●	
		教育				●				
		移動手段								
		情報								
		コネクティビティ								
		文化と伝統								
	ファイナンス									
	生計	雇用	●		●		●		●	
		賃金	●	●	●	●	●	●	●	●
		社会的保護		●		●		●		●
平等と 正義	ジェンダー平等		●●		●●		●●		●●	
	民族・人権平等									
	年齢差別									
	その他の社会的弱者		●●		●●		●●		●●	
社会 経済	強固な制度・ 平和・安定	市民的自由								
		法の支配								
	健全な経済	セクターの多様性		●						
		零細・中小企業の繁栄								
	インフラ	-								
	経済収束	-								
自然 環境	気候の安定性	-		●						
	生物多様性と 生態系	水域								
		大気								
		土壌								
		生物種								
		生息地								
	サーキュラリティ	資源強度								
廃棄物			●		●		●		●	

マッピング中の「●●」は重要な影響があるトピック、「●」は影響があるトピックを示している。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

同会の事業を国際標準産業分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同会の事業について、「病院事業（ISIC:8610）」「居住介護施設（同 8710）」「高齢者・障害者用居住ケアサービス業（同 8730）」「宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業（同 8810）」をそれぞれ適用し、発生するインパクトの検証を行った。

「健康および安全性」「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（住居・健康と衛生）」のエリアにおいては、介護サービスや住環境の提供による利用者の健康や福祉への寄与が PI として、過重労働・人手不足による健康・福祉サービスの質の低下が NI として指摘される。

同会は強みである外来診療、有床診療所、在宅医療等、利用者のニーズに合わせて幅広く医療サービスを展開しているほか、通所、訪問、入所等介護サービスについても利用者のニーズに合わせて複数形態を展開しており、医療・介護サービスを地域に提供することで、これらの PI の拡大に寄与していると考えられる。

また、地域医療・介護を担う人材育成に努め、人員体制を整備することによって、これらの NI の緩和に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「3.8: 質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」
- ・「11.1: 適切、安全かつ安価な住宅や基本的サービスへのアクセスを確保する」

「生計（雇用・賃金）」のエリアにおいては、従業員の雇用や生計の創出という PI が指摘される。

同会は、外国人材の採用と育成、女性管理職の推進、ハラスメント対応（研修の実施、相談窓口の設置等）、職員の負担軽減・処遇の改善・健康増進等によって、これらの PI の拡大に寄与していると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「4.4: 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす」
- ・「5.5: 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する」
- ・「8.5: 完全かつ生産的な雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8: 労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

「気候の安定性」のエリアにおいては、医療・介護施設からの温室効果ガスの排出が NI として指摘される。

同会では、省エネの励行、太陽光発電の導入等によってこの NI の緩和に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」
- ・「13.3:気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」

「サーキュラリティ（廃棄物）」のエリアにおいては、医療廃棄物が発生するという NI が発現する。

同会では、医療廃棄物の分別、廃棄物の削減・リサイクル等廃棄物を適切に処理することで、この NI の緩和に努めている。

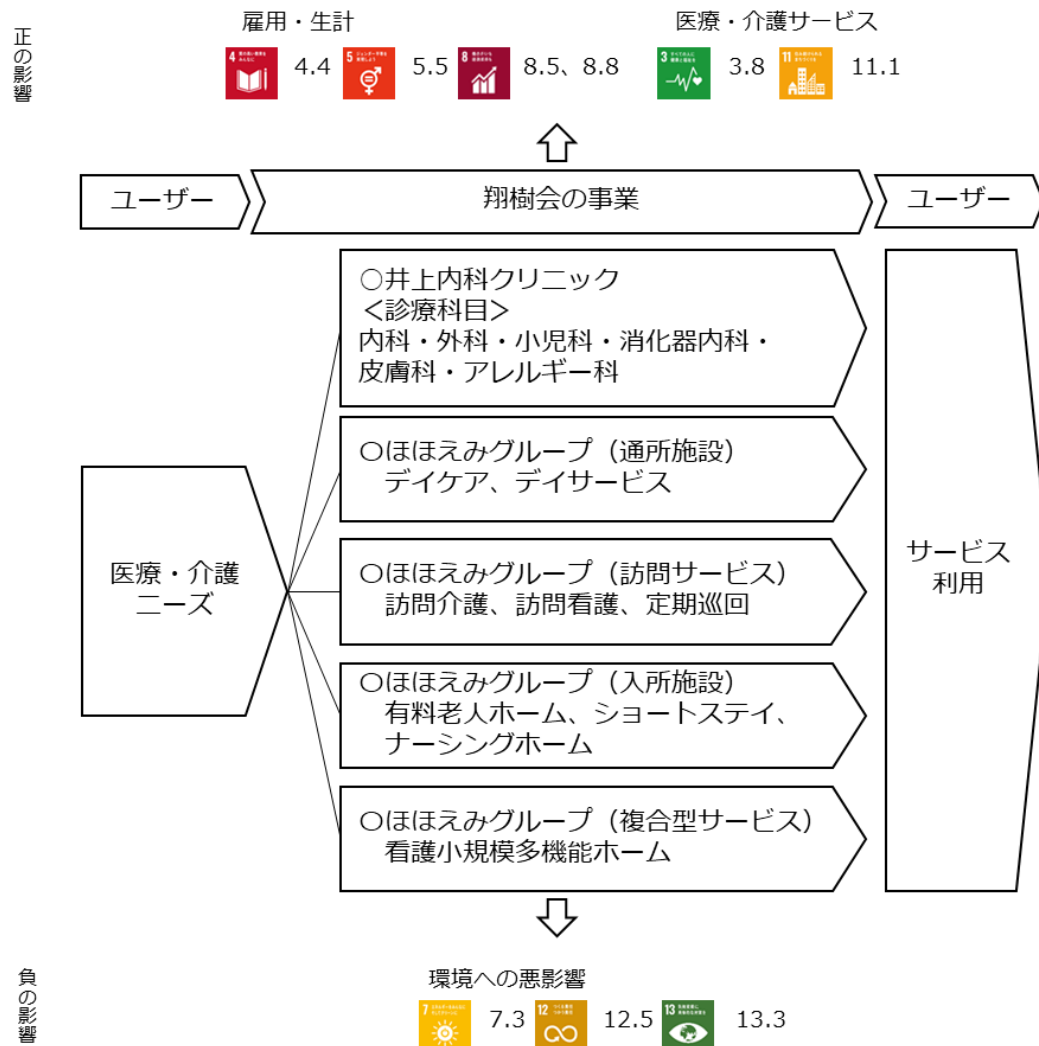
SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「12.5:廃棄物の発生を減らす」

なお、「生計（賃金、社会的保護）」「平等と正義（ジェンダー平等、その他の社会的弱者）」「健全な経済（セクターの多様性）」のエリアにおける NI については、同会事業との関連性が希薄であると判断し、検証を省略した。

(4)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同会のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて同社のインパクトを下記のように特定した。

- 地域医療への貢献
- 環境への配慮
- 女性活躍の推進
- 外国人材の育成

■ 地域医療への貢献

翔樹会は、外来診療、一般病床、在宅医療等、利用者のニーズに合わせて幅広く医療サービスを展開しているほか、通所、訪問、入所等介護サービスについても利用者のニーズに合わせて複数形態を展開。地域の医療・介護ニーズに対して柔軟かつ適切に対応することで、これまで「健康および安全性」「健康と衛生」の点においてポジティブな影響をもたらしてきた。

今後は同会の強みである「在宅医療」のサービス拡充に努めることで、地域によりポジティブな影響をもたらしていく方針である。具体的には、在宅医療に関する講演会の定期開催、専門医の拡充、在宅医療に特化した施設の整備に努めていく方針である。

同会では、行政や近隣病院とも連携を取りながら、地域の公民館などで在宅医療の普及に向けた地域住民への講演会を定期的に行っている。今後もこの取組みを継続的に行うことで、地域における在宅医療の認知度向上に努めていく方針である。

また、在宅医療サービス拡充に向けて、「専門医の拡充」と「在宅医療特化型施設の開設」を今後計画している。

在宅医療専門医については、「5年以上の在宅医療（訪問診療）の経験」もしくは「一年間以上の在宅医療研修プログラムの修了」が資格取得条件とされている。同会には、在宅医療研修プログラムを実施することができる指導医が常駐しており、現在1名の医師が研修プログラムを受講中である。新たな専門医の育成に注力していくことで、地域医療を支える人材を輩出する方針である。在宅医療専門医の資格を有する医師の数は、愛知県内においても30名程度にとどまっており、同会が今後担う役割は愛知県内においても、インパクトが大きいものと考えられる。

専門医を新たに輩出し、サービス拡充に向けた人員体制が整備されたのちには、「在宅医療特化型の医療施設」を新設する。「在宅医療特化型の医療施設」とは具体的に「機能強化型在宅療養支援診療所」であり、自宅で療養する方に対して医療サービスが提供できる。設置には、「在宅医療を担当する常勤の医師が連携内で3名以上配置されていること」「過去1年間の緊急の往診の実績が連携内で10件以上あること」「過去1年間の在宅における看取りの実績又は超・準超重症児の医学管理の実績いずれか4件以上あること」といった厳しい基準を満たす必要があり、同会では地域に在宅医療のサービスをより浸透できる体制を整えていく方針である。施設の新設後は24時間体制で往診や訪問介護を行うことができるなど地域住民により利便性や質の高い医療サービスを提供することができる。

このインパクトはUNEP FIのインパクトリーダーでは「健康および安全性」「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（健康と衛生）」のエリアに該当し、社会的側面のPIを拡大すると考えられる。

SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

・「3.8: 質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

を達成する」

■ 環境への配慮

同会では、太陽光発電の導入や省エネ・節電の励行等により、事業活動から生じる環境負荷の軽減にこれまで努めてきた。

今後も、各拠点におけるエアコンを省エネ法で定める省エネ基準を満たしたエアコンに順次切り替えるなど、より一層省エネ化を推進することによって、事業活動から生じる環境負荷の軽減に努めていく方針である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトリーダーでは「気候の安定性」のエリアに該当し、環境的側面の NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」

・「13.3:気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」

■ 女性活躍の推進

同会では、従業員の子育て支援に努めるとともに、ジェンダー関係なく昇進・キャリアアップの機会を設けることで、全ての従業員が安心して働くことができる環境の整備に努めてきた。

具体的には、妊娠中の従業員の健康に留意し、安心して働ける職場環境の整備を実施するとともに、育児休業法についての行政パンフレットを職員に配布し、給付金や社会保険料の免除制度など情報提供を行っている。また、子育て支援の一環として、子どもの看護休暇制度を整備、子どもの病気、怪我の際に休暇を取得するよう周知している。

今後も、上記取組みを継続することで、ジェンダー関係なく、全ての従業員が安心して働くことができる職場環境の整備に努めていく方針である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトリーダーでは「生計（雇用）」のエリアに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

・「5.5:政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する」

・「8.5:完全かつ生産的な雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」

・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

■ 外国人材の育成

同会では、これまでも外国人材を複数名受け入れてきた実績を誇り、2024年2月末現在6名の外国籍従業員が活躍している。業界未経験の外国人材についても採用し、介護のプロを目指すための、教育プログラムを整備している。

具体的には、法人内の管理者や職員が「介護福祉士初任者研修」や「介護福祉士実務者研修」の講師要件を充足し、同会内で研修を受けられる体制を整備している。このうち、介護福祉士実務者研修とは、基本的な介護提供能力の習得を目的とした研修であり、介護福祉士の受験要件となっている。

介護先進国である日本の介護の基礎教育を同会内で内製化することで、未経験の外国籍従業員も安心して働くことができる体制を整備している。

同会は、今後も上記取組みを継続するとともに、外国籍従業員を定期的に採用することで、ダイバーシティ経営を推進していく方針である。

このインパクトはUNEP FIのインパクトリーダーでは「生計（雇用）」のエリアに該当し、社会的側面のPIを拡大すると考えられる。

SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「4.4:働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす」
- ・「8.5:完全かつ生産的な雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(5)インパクトニーズの確認

①日本におけるインパクトニーズ

国内におけるSDGインデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同会のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下 6 点である。

- ・「3:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」
- ・「4:すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」
- ・「5:ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」
- ・「7:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
- ・「8:包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」
- ・「13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

国内におけるSDGダッシュボード上では、「5」「13」に関しては「大きな課題が残る」、「7」「8」に関しては「重要な課題が残る」とされており、「3」に関しては課題が残るとされており、同会が女性活躍支援に努めること、省エネ化を推進すること、地域医療への貢献等の取組みが、日本におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出所：SDSN)

②愛知県におけるインパクトニーズ

また、同会の事業活動が地元愛知県を中心として行われているため、「愛知県第2期SDGs未来都市計画」を参照し、愛知県内におけるSDGs達成に向けての課題を確認した。

下記のとおり、愛知県は「女性が活躍できる環境づくり」や「カーボンニュートラルの実現」をSDGs達成に向けての課題とするなか、同会の女性活躍推進に向けた取組みや省エネ化を推進すること等が、愛知県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

「愛知県SDGs未来都市計画（第2期）」より今後取り組む課題を抜粋

（経済面）

○ デジタル化の急速な進展に伴って、産業構造の大きな変化が見込まれる中、自動車産業を始め、あらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりの推進が必要。

（社会面）

○ 今後、人口減少局面に転じるとともに、急速に高齢者が増加。すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていくことが課題。

○ 若年女性の東京圏への流出超過が拡大する中で、持続的な発展のためには、若年女性の流入・定着が重要で、企業等で女性が活躍できる環境をつくっていくことが課題。

（環境面）

○ 都市化や産業活動により失われた各地域の生態系を再生・回復、維持していくためには、多様な主体が連携して生態系を守っていくことが課題。また、我が国随一の産業県として、企業等と連携しながらカーボンニュートラルの実現にも取り組んでいくことが重要。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認

ここでは特定した PI について追加性があること、十六銀行の SDGs の取組みと方向性が同じであることを確認する。本 PIF で特定した PI は「地域医療への貢献」「女性活躍の推進」「外国人材の育成」の 3 点である。

「地域医療への貢献」では、在宅医療サービスの普及に向けた啓蒙活動とサービスの拡充に向けた人員体制と施設の整備に取り組むことで、地域医療により一層貢献していく。

「女性活躍の推進」では、従業員の子育て支援とキャリアアップに取り組むことで、より一層の女性活躍に努めていく。

「外国人材の育成」では、外国人材の採用と育成を強化していくことで、ダイバーシティ経営を推進していく。

以上から、上記の PI は SDGs を達成するために、効果が期待できる取組みであり、追加性があるものと評価できる。

十六フィナンシャルグループでは、「十六フィナンシャルグループ SDGs 宣言」の中で「地域社会の活性化」「地域社会の持続的発展」「多様な人材の活躍推進」「環境保全と気候変動対策」「ガバナンスの高度化」の 5 つを SDGs 達成に向けた重点課題（マテリアリティ）としている。


本 PIF で特定したインパクトは、「地域医療への貢献」については「地域社会の活性化」と、「女性活躍の推進」「外国人材の育成」については「多様な人材の活躍推進」とそれぞれ方向性が一致する。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。

■ 地域医療への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア	「健康および安全性」「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（健康と衛生）」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・在宅医療の普及に向けた講演会の開催や、在宅医療に特化した人材の育成、在宅医療特化型施設の拡充に取り組むことによって、地域医療へより一層貢献する。
KPI	・在宅医療普及に向けた講演会を定期的（年 30 回程度）に開催する。 ・2026 年度中に在宅医療専門医を新たに 1 名増員する。 （2024 年 2 月末実績：1 名） ・2030 年 3 月期を目安として在宅医療に特化した施設（機能強化型在宅療養支援診療所）を新設する。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

■ 環境への配慮

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトエリア	「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・診療所、介護施設のエアコンの省エネ化を推進する。
KPI	・診療所、介護施設のエアコンを毎年 3 台以上省エネ法が定める省エネ基準を満たしたものに切り替える。

■ 女性活躍の推進

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア	「生計（雇用）」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・子どもの看護休暇制度の周知等従業員の子育て支援の取組みによって、ジェンダー関係なく活躍できる体制を整備する。
KPI	<p>・2026 年 3 月期までに管理職男女比と全労働者男女比を近づけるために、女性管理職を 60%以上とする。</p> <p>(※2024 年 2 月末実績：全従業員に占める女性の割合 75.7%、全管理職に占める女性管理職の割合 54.6%)</p>

■ 外国人材の育成

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア	「生計（雇用）」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・長期在留を望まれる外国人労働者の採用と研修を強化していくことで、ダイバーシティ経営を推進する。
KPI	・2030年3月期までに外国人従業員数を11名とする。 (2024年2月末実績：6名)

4. モニタリング

(1) 翔樹会におけるインパクトの管理体制

翔樹会では、本部長の瀬戸山氏、事務長の田中氏が中心となり自社業務や事業計画などの棚卸を行い、本PIFにおけるインパクトの特定ならびにKPIの策定を行った。

今後についても、瀬戸山氏を中心にSDGsの推進ならびに本PIFで策定したKPIの管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	本部長 瀬戸山 文子 氏
-------	--------------

(2) 当社によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と十六銀行、十六総合研究所の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、十六総合研究所が現時点で入手可能な公開情報、翔樹会から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 十六総合研究所が本評価に際して用いた情報は、十六総合研究所がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。十六総合研究所は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は十六総合研究所に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所